

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【公開番号】特開2011-230909(P2011-230909A)

【公開日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-046

【出願番号】特願2010-104295(P2010-104295)

【国際特許分類】

B 6 5 H 23/038 (2006.01)

B 4 1 J 15/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 23/038 Z

B 4 1 J 15/04

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月15日(2013.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シートを搬送する第1の搬送手段と、シート搬送方向において前記第1の搬送手段の下流に配されシートを搬送する第2の搬送手段と、前記第1の搬送手段と前記第2の搬送手段の間に配されシートの第1の側端を案内する第1のガイドと、前記第1の側端が前記第1のガイドに近づく方向に前記シートを搬送する斜送手段を備えるシート搬送装置において、

前記シート搬送方向と交差する方向に移動可能で前記シートの前記第1の側端と反対側の第2の側端を案内するための第2のガイドと、前記斜送手段及び前記第2のガイドを制御する制御手段を備え、該制御手段は、前記第2のガイドが前記第2の側端から離間した状態で前記斜送手段を駆動して前記第1の側端を前記第1のガイドに押し付けた後に、前記第2のガイドを前記第2の側端と当接する位置に移動させることを特徴とするシート搬送装置。

【請求項2】

前記第2の搬送手段は駆動ローラと従動ローラを有し、前記制御手段は、前記駆動ローラと前記従動ローラが離間した状態で前記斜送ローラを駆動して前記第1の側端を前記第1のガイドに押し付け、前記駆動ローラ及び前記従動ローラで前記シートを挟持した状態で前記第2のガイドを前記第2の側端と当接させることを特徴とする請求項1に記載のシート搬送装置。

【請求項3】

前記斜送手段は斜送駆動ローラと斜送従動ローラを有し、前記制御手段は、前記斜送駆動ローラと前記斜送従動ローラが離間した状態で前記第2のガイドを前記第2の側端と当接させることを特徴とする請求項2に記載のシート搬送装置。

【請求項4】

前記制御手段は、前記斜送手段を前記シートを挟持した状態で停止させ、かつ前記第1の搬送手段で前記シートを搬送することにより前記シートにループを形成することを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1項に記載のシート搬送装置。

【請求項5】

前記第1の搬送手段と前記斜送手段の間に配され前記シートの上面をガイドする上面ガイドをさらに備え、該上面ガイドは前記シートにループが形成されることを許容する位置に移動可能であることを特徴とする請求項4に記載のシート搬送装置。

【請求項6】

前記シートはロール状に巻かれた連続シートであることを特徴とする請求項1ないし5のいずれか1項に記載のシート搬送装置。

【請求項7】

請求項1ないし6のいずれか1項に記載のシート搬送装置と、該シート搬送装置から搬送されたシートに記録を行う記録手段と、を備えることを特徴とする記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、上記目的を達成するため、シートを搬送する第1の搬送手段と、シート搬送方向において前記第1の搬送手段の下流に配されシートを搬送する第2の搬送手段と、前記第1の搬送手段と前記第2の搬送手段の間に配されシートの第1の側端を案内する第1のガイドと、前記第1の側端が前記第1のガイドに近づく方向に前記シートを搬送する斜送手段を備えるシート搬送装置において、前記シート搬送方向と交差する方向に移動可能で前記シートの前記第1の側端と反対側の第2の側端を案内するための第2のガイドと、前記斜送手段及び前記第2のガイドを制御する制御手段を備え、該制御手段は、前記第2のガイドが前記第2の側端から離間した状態で前記斜送手段を駆動して前記第1の側端を前記第1のガイドに押し付けた後に、前記第2のガイドを前記第2の側端と当接する位置に移動させることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

180は斜送Rモータ333、補助ガイドモータ334、斜送Rリリースモータ335、基準ガイドモータ336を駆動するためのモータドライバである。斜送Rモータ333の駆動により斜送駆動モータ316を駆動し、シートを基準ガイドへ斜めに搬送させる。斜送Rリリースモータ335の駆動により斜送従動ローラの接離を行う。補助ガイドモータ334の駆動により補助ガイド319を、基準ガイドモータ336の駆動により基準ガイド318をそれぞれ配置された側のシート端部に当接させる。